

つくしんぼ園 支援プログラム

社会福祉法人 桃郷

作成日：2024年10月22日

法人理念		①すべての子どもたちが平等な権利を享受し、地域社会に参加できることを目指します。 ②保護者、家族、地域と共に学びあい、共に育ちあうことを目指します。 ③一人一人の子どもの発達を理解し、生活を通して豊かな人生を歩む基礎づくりを目指します。 ④地域福祉の担い手として、地域ニーズに答える取組を実践します。 ⑤保健、福祉、医療、教育、地域の皆様と手を取り合い、子どもを支える地域づくりを目指します。		
保育方針		・身の回りの整理をはじめ、食事やお昼寝、排泄など、毎日のくり返しの中で、わかってできる経験を積み重ねる、主体的な生活を送る。 ・あそびを通した活動を中心に、楽しいと思える経験を通して、内面を豊かにし、自分らしさを深めていく ・集団生活を通し、他者との相互的な関係性の中で自分らしさを育んでいく		
営業時間		8:45～17:15	送迎実施の有無	あり・なし
保育内容	時間	項目	内容	5領域
	9:00	登園活動	・自宅での健康確認 ・登園活動:身の回りのことを行う。 (コップ出し、衣服の片づけ、食後のおしぼり準備(洗う・絞る))	*健康・生活 *運動・感覚(手指の巧緻性) *認知・行動(対象の区別)
		自由遊び	自分の好きなあそびを選択し、楽しく取り組む中で心と身体のウォーミングアップ 屋外:三輪車、砂場、アスレチック、木登り、おいかけてetc. 室内:積木、ブロック、お絵描きetc.	*運動・感覚 *言語・コミュニケーション *認知・行動 *人間関係・社会性
	10:00	散歩	・しっかりと歩くことで、体力や体幹を鍛える。 ・四季折々の自然や物事を五感であじわい、他者と共有しあう。 ・社会のルールやマナーを学ぶ	*運動・感覚 *言語・コミュニケーション *認知・行動 *人間関係・社会性
		リズム	・広い空間で全身を使い、のびのびと楽しむ。 ・ピアノの音やおとなの動きを意識して取り組む中で、身体自由度を高めていく。	*運動・感覚 *認知・行動
		製作	・様々な道具に触れ、使用する中で手指の巧緻性を高めていく。 ・イメージを膨らませながら、自分の作品をつくりあげていく。	*運動・感覚 *認知・行動
	11:30	給食	・必要な道具等を準備し、場面に応じて使用し、食事マナーを身につける。 ・必要な栄養を摂取し、食事の楽しみも共有する中で、気持ちの栄養もたくわえる。 ・手洗いや、食後の口ふき、歯磨きなど清潔管理を身につける。	*健康・生活 *言語・コミュニケーション *人間関係・社会性
	12:30	午睡準備	・パジャマの着替えや布団の準備など、自分にとって必要な事を自分で行う。 ・できないことがあれば、介助を求めている。	*健康・生活 *認知・行動(対象の区別) *言語・コミュニケーション
	13:00	午睡	午前中の“動”の活動を経て、身体と気持ちを落ち着けるなど”静”の時間とし、生活リズムのメリハリをつける。	*健康・生活
	14:00	排泄	・生活習慣を確立させると共に、自分の身体の主人公になる。 ・手洗いや拭き取りなどによって、清潔管理を身につける。 ・スリッパやトイレトペーパーの使用など社会生活のマナーを身につける。	*健康・生活 *運動・感覚 *人間関係・社会性
		おやつ	・活動を継続するための栄養補給 ・リラックスした雰囲気の中で他者とのやりとりを楽しむ	*健康・生活 *言語・コミュニケーション
		自由遊び	活発な活動だけでなく、ゆっくり過ごすことなど、活動のペースを自己選択・自己決定して取り組む。	*健康・生活 *運動・感覚 *認知・行動 *言語・コミュニケーション *人間関係・社会性
	15:00	帰りのあつまり	・お話を中心とした時間を楽しむ (パープサート、人形劇、OHP etc.) ・子ども自身も演じ手として活躍する。 ・全員であいさつし、一日の活動を締めくくる。	*認知・行動 *言語・コミュニケーション *人間関係・社会性
	15:15	降園	・自分の身の回りのことを準備し、好きな絵本を選んで荷物をまとめる。 ・大好きな保護者のお迎えを期待する。	*健康生活 *認知・行動 *人間関係・社会性
家族支援		*親子保育 保護者が保育に参加する中で、わが子の姿を多面的にとらえ、関わりの幅を広げていく。 *保護者教室 子どもの発達や障害を理解したり、先輩保護者の話を聞く、また、制度や医療などの知識を身につけることで、子育ての見通しを前向きに持てるようになる。 *個別相談(発達相談、家庭訪問、個別面談 etc.) 一人ひとりの子どもの育ちや特性に応じて相談をすすめていく。 *グループ交流(全体交流会、グループ別交流、進路交流 etc.) 保護者同士の関わりの中で、わが子の理解を深めたり、子育ての視点を広げていく。		
移行支援		*5歳児活動 様々な活動や外出経験などを通して、学童期以降に必要な知識やスキルを身につけていく。 *進路選択の支援 ・一人ひとりにあった就学先を選択していくための支援 (学校見学・体験入学・就学相談会への参加・進路面談 etc.) ・地元の保育園・幼稚園・こども園への移行のための支援 (園見学・体験入園・進路面談 etc.)		
地域支援・地域連携		・園内行事などへの地域関係者の参加 ・並行通園児が通う園との相互交流やカンファレンスの実施 ・地域の保育園、幼稚園、こども園などへの巡回相談 ・地域の児童発達支援事業所、および放課後等デイサービス事業所へのコンサルテーション ・自立支援協議会こども部会への参加、および母子保健や児童相談所はじめとした行政機関との連携、情報共有		
職員の質の向上		・経験年数に応じた研修の実施(法人研修) ・人権理解、虐待防止、衛生管理のための研修(法人・園内研修・外部研修) ・保育や発達理解のための研修(法人・園内研修・外部研修) ・様々な文化・芸術に触れる機会づくり		
主な行事等		はじめましての会・遠足(春、秋)・家族登園日・星のつどい・宿泊保育・運動会・クラルテ人形劇・つくしんぼまつり・クリスマス会・生活発表会・お別れ遠足・卒園式		